

あきる野市長臼井孝様

前田眞敬(あきる野9条の会)
電話 558-7857

オスプレイの再度の飛来情報に関する申し入れ

去る7月7日は、直前の申し出にもかかわらず、当会及び市民の申し入れに対して企画政策課長らに対応し、私どもの要請に応じていただきありがとうございました。国に提出した要請書にも、オスプレイが飛来しないよう求めたほか、市民から強い要望のあった件について、「あきる野市は横田基地に近接しており、C-130輸送機等による航空機騒音に対する苦情件数が増加している状況にあるので、米国政府に対して基地周辺の航空機騒音の緩和について、申し入れる」よう要請されたことに感謝します。

さて、この度の「オスプレイ2機が、8月9日(土)に横田飛行場に着陸し、翌10日(日)に同飛行場を離陸する可能性がある」との情報に関しては、横田基地に近接するあきる野市民として、見過ごすことのできない事態です。オスプレイがオートローテーション機能を持たないなど日本の航空法の要件を満たさない危険な航空機であり、飛行時に発生する低周波騒音の影響も新たに問題となっています。日ごろから、多くの市民が米軍大型輸送機C130Hの低空旋回訓練の騒音などに悩まされ、不安を感じており、日本国憲法にうたわれている平和的に生きる権利を守る立場からも、これ以上横田基地の軍事的機能が強化されることは、容認できません。

あきる野市として、市民の安全・安心を守る立場から、市民の声に応じて、オスプレイが飛来し、横田基地に着陸することのないように改めて国に要請し、また、市としての取り組みを強めるよう、下記のことを申し入れます。

記

- 1) いかなる形でもオスプレイが横田基地に飛来・着陸しないように、また、あきる野市の上空を飛来しないよう市として改めて強く国に要請してください。
- 2) 今回の飛来は9月6、7日の横田友好祭でオスプレイを展示する下準備ではないかとの指摘があります。こうしたことが絶対にならないように要請してください。
- 3) 7月の飛来では、2012年9月の「日本国における新たな航空機(MV-22)に関する日米合同委員会合意」に反する飛行(瑞穂町の上空・基地外でヘリモードに転換したことや2機同時に飛び立ったことはフロリダにおける事故原因を回避していないこと)が見られました。予想される8月9日、10日の両日、横田基地周辺において、あきる野市としての監視活動を行ってください。
- 4) あきる野市の上空での米軍輸送機C130Hなどの飛行訓練は行わないよう、改めて市として申し入れるとともに、市としても騒音の測定を行うなど飛行実態を調査し、市民に開示してください。
- 5) 引き続き横田基地に係る情報収集を図り、市民に開示してください。